

はじめに

和歌山県立文書館は、貴重な歴史資料となる古文書、公文書、行政刊行物等の収集・整理・保存・活用により、本県の学術文化の発展に寄与することを目的として平成5年7月に開館しました。

開館以来今日まで、収集した文書を順次整理して一般利用に供してきていますが、このたび、開館時に「和歌山県史編さん事業」から引き継ぎました歴史図書など約1万冊と開館後収集してきました行政刊行物など合わせて3万4千冊余について目録を作成しました。

現在、『紀伊続風土記』『紀伊国名所図会』『南紀徳川史』『和歌山県史』をはじめ、明治・大正期から県内で発行された新聞資料や和歌山県統計書など「県史編さん事業」から引き継ぎました多くの文献や資料は、来館者の郷土史研究に利用されているところです。

一方、主として開館後の収集となる行政刊行物は、大部な報告書から簡単な小冊子までその形態は様々ですが、いずれも政治・行政の各分野における様々な場面での記録が集約されたものです。毎年大量に発行されるこれらの行政刊行物は、「1点もの」の古文書や公文書と比較して歴史資料として評価されにくい傾向にあります。刊行後10年、20年と経過すればその多くは散逸し、あるいは組織の再編等により作成課室から消失してしまうことも希ではありません。

当館では、県発行のすべての刊行物の保存を図るとともに、本県史料保存の中核施設として県内全市町村から『市町村議会議事録』『主要施策の成果』などの収集にも努めており、これらの市町村刊行物は、県刊行物とともに、将来貴重な歴史資料群となるものと期待しています。この目録を閲覧の際の検索や利用に役立てていただければ幸いです。

歴史図書や行政刊行物の収集に当たりましてご協力いただきました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご協力をお願いいたします。

平成23年3月

和歌山県立文書館長
山中 良一